

2024年度開発協力人材育成事業：募集分野

募集分野		登録番号	
■募集分野	緊急・人道支援	■募集人数（人）	1
■学位	修士		
■担当部署名	国際緊急援助隊事務局		

■募集の背景

1. 国際緊急援助隊（JDR）は、海外での大規模災害発生時に、救助チーム、医療チーム、感染症対策チーム、専門家チーム、自衛隊部隊の派遣などにより、緊急の人道支援を展開する任務を負っている。事務局は国際協力機構（JICA）におかれており、発災にあたっては国際緊急援助隊の派遣に必要なオペレーションを主導するとともに、平時においてはニーズに迅速・的確に対応できるように、必要な隊員の登録、研修・訓練の企画運営、マニュアル類の整備、資機材の調達・維持管理等を行っている。

2. 災害援助の分野においては国際機関を中心とした連携調整の枠組みが強化されている。国連人道問題調整事務所（UN OCHA）は、災害に関する情報収集・発信や、海外からの被災地に展開する人道支援チームに関する総合調整の役割を担い、必要な場合には国連災害評価調整（UNDAC）チームを派遣する。救助チームや医療チームについても、いずれも国際基準が設けられ、JDR事務局では国際基準に基づいた体制整備を行っている。例えば、救助チームにおいてはUNOCHAに事務局を置くINSARAG（国際捜索救助諮問グループ）によりガイドラインが制定され、JDR救助チームはこれに基づく体制整備を行い国際認証を取得している。また、WHOは 緊急医療支援チーム（Emergency Medical Team）に関するガイドラインを制定し、医療チームはこれに基づく国際認証を取得している。現在では、これらの認証が無いと、チームの国際派遣が実質的に困難なほどに、連携の調整枠組みが構築されている。JDR事務局では、これら機関が主催する国際会議等に参加し情報収集するとともに、運用側にも貢献を果たし、日本の知見を国際基準に反映させることも目指してきた。

3. 多くの災害にさいなまれてきた日本が、今後もその経験を世界に生かし、有効な支援を被災国に提供するためには、緊急人道支援に対する包括的な知識を有したうえでこれらの高度な国際調整を行える人材、また同枠組みを理解し日本の緊急人道支援をリードする人材の育成が欠かせない。

■本事業を通じて育成が期待される人材像

緊急・人道支援に関連する分野の体系的な知見を、本事業による留学により当該分野における高度な学術的・実務的な研究等に携わり修士号を取得することを通じて習得するとともに、留学中の研究を含む諸活動で様々な政府や国際パートナー機関とのネットワーキング・協調を図り、日本における国際緊急援助（緊急・人道支援）の実務を行うにあたりその成果を最大化させるために必要なノウハウを身に付けることが期待される。特に、将来的に国際的な大規模災害の現場に派遣され、災害支援のために集まる多数の支援者（国際機関、国、NPOなど）の活動を調整したり、日本の協力効果の最大化に向けた国際調整を行うことのできる日本の国際緊急援助に貢献する人材が育成されることが期待されています。

■想定される大学院の研究コース（及び研修内容）

Coventry Uni., UK: MSc in Crisis and Disaster Management
 The Univ of Manchester: MSc International Disaster Management and Humanitarian Response
 Northumbria Uni, UK: MSc in Disaster Management and Sustainable Development
 Univ of Portsmouth: Crisis and Disaster Management MSc
 George Washington Univ: Graduate certificate program in Homeland Security Emergency Preparedness and Response

■参考情報

多くの諸外国においては、経済・社会基盤が弱い弱であるため、災害が発生した際には被害が拡大し、十分な救援活動も行えないのが実情です。世界の多くの国々は、救助チームや医療チームなど、被災国を支援する仕組みを有しています。一方、無秩序な支援により被災国を混乱させることを避けるべく、INSARAGやWHOがイニシアティブをもって調整枠組みを構築しており、日本の緊急援助もこれらの枠組みに則って行われます。国際緊急援助の基礎知識として、これら制度の把握に努めてください。

JDR: <https://www.jica.go.jp/activities/schemes/jdr/index.html>
 OCHA (UNDAC): <https://www.unocha.org/we-coordinate>
 INSARAG: <https://www.insarag.org/>
 WHO EMT: <https://extranet.who.int/emt/>

■研修修了後に想定されるJICA事業参画の時期・期間

「学位取得後に数年間JICA本部に勤務した後、連携調査員等として1年以上国際調整の最前線に派遣されることを想定」
 * 面接時及び合格発表時、研修中等に本人と適宜相談の上、業務内容は変更の場合があります。

■募集要項に記載の応募資格以外に受入れに関し求める要件（「必須」か「望ましい」かを選択し、具体的な要件を記載ください。）

必須	救助、災害（救急）医療、感染症対策などの現場で3年以上の実務経験があり、災害急性期における対応・管理についての知見を有すること。または国際人道支援の分野で3年以上の実務経験があり、国連機関や国際チーム間の調整業務についての知見を有すること。

■備考・留意点

・国際緊急援助は、災害発生時に途上国を中心とした海外の人々に迅速に支援を提供する、非常にやりがいのある業務です。これまでの経験を二国間支援としての国際緊急援助に活かしたい方、国際緊急援助隊のチーム力向上に貢献したい方、また、現場での効果的な国際緊急援助実施に必要な各種調整（国際調整を含む）に力を注ぎたい方の応募をお待ちしています。